



財務大臣・金融担当大臣
参議院議員
片山 かつき

略歴
1959年埼玉県さいたま市生まれ。1982年東京大学法学部卒業後大蔵省入省。広島・海田税務署長、G7サミット代表団団員、金融機関監督管理職、横浜税関総務部長、主計局主計官等女性初のポストを歴任。2005年衆議院議員選挙静岡7区で選挙区当選。2010年参議院比例区自民党トップ当選。2016年参議院比例区女性1位、現職1位で再選。第4次安倍改造内閣で内閣府特命担当大臣、地方創生・規則改革・女性活躍推進担当国務大臣、2019年10月以降総務会長代理を3期務める。2022年参議院比例区女性1位、自民党4位で3選。2025年1月参議院決算委員長就任。2025年10月21日、高市内閣で財務大臣（金融担当大臣）に就任（前身の大蔵大臣時代を含め女性初の財務相）。

新しい年を迎えるにあたり、大洗町の皆さまにご挨拶を申し上げる機会を頂戴し、心より御礼申し上げます。訪れるたびに、町の温かさや活気に触れ、大洗町の皆さまの力強さに励まされ、また國井町長の大洗を愛する心と、類い稀なリーダーシップにその都度感銘を受けております。

大洗町を象徴する出来事として、まず何より触れたいのは「大洗海上花火大会」です。

澄んだ秋の夜空と大洗の海を舞台に打ち上げられた色鮮やかな花火は、まさに圧巻でした。多くの来訪者が「一生の思い出になる花火だった」と口を揃えておられたと伺っています。

花火大会は、単なる季節行事ではなく、大洗町の「地域力」を象徴する大きなイベントです。地域の安全管理、商工会や観光関係者の皆さまの創意工夫、住民の皆さまの支えがあってこそ成り立つ、大洗町の誇

りとも言える催しです。秋の夜空を背景に、大洗の魅力が全国に向けて強く発信された瞬間だったと感じております。

こうした華やかな花火大会に象徴されるように、昨年の大洗町は一年を通じて活気に満ちていました。「大洗商工感謝祭&大洗あんこう祭」も、大くの来場者を迎え、大きな盛り上がりを見せ、地域の食の魅力が着実に浸透している証でもあります。

しかし、あんこう祭や商工感謝祭が多くの方に親しまれている背景には、花火大会と同様に、地域全体の力があるからこそです。観光、漁業、商工業、地域の皆さま一人ひとりが「町を良くしたい」という想いを持ち寄り、それぞれの分野から大洗町を支えてこられた結果が、この活況につながっています。

漁業の伝統を守りながら新しい販路に挑戦し続ける姿勢、観光におけるデジタル発信の強化、子育て世帯を地域で支える温か

い仕組みづくりなど、大洗町には全国の自治体から学ばれるべき取り組みが数多くあります。

私は現在、財務大臣として日本全体の経済・財政運営を担う立場にございますが、日本の未来を支えているのは大洗町のような地域の現場です。地域の皆さまの努力が結集して新たな価値が生まれ、それが町の発展へとつながる。その積み重ねこそが、日本全体を前へと進める力になります。国としても、観光振興、デジタル化、子育て支援、中小企業支援など、地方の挑戦を後押しする政策をさらに力強く進めてまいります。

大洗町には、海・食・文化・人の温かさ、そして挑戦し続ける姿勢という、他の地域にはない宝が数多くあります。今年もまた、大洗町がさらに大きく輝く一年となりますよう、皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げます。